



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）五十川 龍之
問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員 財務部長（氏名）久米 俊樹（TEL）0798-56-5010
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	124,065	6.5	5,723	29.1	5,570	14.7	3,179	6.9
2024年3月期中間期	116,464	12.0	4,431	38.2	4,858	16.6	2,974	3.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 4,115百万円（△21.7%） 2024年3月期中間期 5,253百万円（ 4.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	48.16	—
2024年3月期中間期	45.11	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	246,352	110,684	44.0
2024年3月期	260,102	108,734	41.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 108,511百万円 2024年3月期 107,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.50	—	24.50	47.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	270,000	5.0	13,000	10.5	12,200	0.8	7,500	3.0
								113.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	70,000,000株	2024年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,908,804株	2024年3月期	4,029,045株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	66,022,493株	2024年3月期中間期	65,937,791株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）
決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。
また、当社は、2024年11月18日（月）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。当日使用する資料については事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載するほか、決算説明会の模様及び説明内容（動画）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 中間連結貸借対照表	P. 5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等の注記)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調が継続した一方、世界的な金融引き締めや為替相場の変動、地政学的リスクの高まり等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画「SG-Vision2030」のPhase 2に当たる、中期経営計画「SG-2026」を策定し、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当中間連結会計期間の業績につきましては、受注高は143,023百万円(前年同期比11.2%増)、売上高は124,065百万円(同6.5%増)となりました。なお、当中間連結会計期間末の受注残高は313,582百万円(同16.5%増)であります。

損益面は、増収に伴い、営業利益は5,723百万円(同29.1%増)、経常利益は5,570百万円(同14.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3,179百万円(同6.9%増)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに増加いたしました。

また、保守・修理事業も、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は61,240百万円(前年同期比13.7%増)、売上高は51,821百万円(同7.5%増)となり、営業利益は2,103百万円(同88.3%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は121,400百万円(同9.0%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は23,380百万円(前年同期比1.0%減)、売上高は21,099百万円(同14.5%増)となり、営業利益は1,763百万円(同23.9%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は62,716百万円(同22.8%増)であります。

(産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は真空製品が減少した結果、分野全体でも減少いたしました。

また、環境関連事業は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は14,870百万円(前年同期比9.8%減)、売上高は16,911百万円(同14.1%減)となり、営業利益は1,461百万円(同18.0%減)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は53,249百万円(同30.3%増)であります。

(流体)

国内、海外ともに需要が堅調に推移し、受注及び売上が増加した結果、当セグメントの受注高は15,938百万円(前年同期比11.3%増)、売上高は10,149百万円(同9.7%増)となり、営業利益は519百万円(同52.3%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は13,031百万円(同7.1%増)であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに増加いたしました。

また、民需関連も、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は18,542百万円(前年同期比55.5%増)、売上高は15,573百万円(同5.8%増)となり、営業利益は1,243百万円(同18.1%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は46,933百万円(同16.2%増)であります。

(その他)

建設事業及びソフトウェア事業において、受注、売上ともに増加した結果、当セグメントの受注高は9,051百万円(前年同期比7.5%増)、売上高は8,510百万円(同38.0%増)となり、営業利益は509百万円(同78.9%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は16,250百万円(同21.9%増)であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、棚卸資産や有形固定資産は増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて13,749百万円減少し246,352百万円となりました。

(負債)

負債は、仕入債務や有利子負債の減少、法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて15,700百万円減少し135,667百万円となりました。

(純資産)

純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,950百万円増加し110,684百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.1%から44.0%に上昇いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、19,486百万円と前連結会計年度末に比べて3,404百万円の減少となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動の結果得られた資金は、9,404百万円(前年同期に支出した資金は14,676百万円)となりました。これは、仕入債務の減少額が4,881百万円、法人税等の支払額が4,034百万円、棚卸資産の増加額が3,340百万円あったものの、売上債権の減少額が15,651百万円、税金等調整前中間純利益が5,537百万円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動の結果支出した資金は、5,924百万円(前年同期に支出した資金は3,028百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が5,500百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動の結果支出した資金は、7,776百万円(前年同期に得られた資金は15,797百万円)となりました。これは、短期借入金を中心とした有利子負債の返済額が6,120百万円、配当金の支払額が1,616百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2024年5月7日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。売上高と営業利益のセグメント別内訳は、本決算短信と同時に開示しております中間決算補足説明資料をご覧ください。

2025年3月期 通期連結業績予想の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	285,000	13,000	12,200	7,500	113.69
今回修正予想 (B)	270,000	13,000	12,200	7,500	113.48
増減額(B-A)	△15,000	—	—	—	—
増減率(%)	△5.3	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2024年3月期)	257,060	11,765	12,106	7,279	110.38

※10月以降の前提となる為替レートは、1米ドル=140円としております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,382	19,655
受取手形、売掛金及び契約資産	83,163	64,807
電子記録債権	7,977	12,242
商品及び製品	5,405	5,780
仕掛品	24,147	29,147
原材料及び貯蔵品	29,131	27,804
その他	5,052	4,296
貸倒引当金	△203	△488
流動資産合計	178,056	163,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,713	20,233
その他(純額)	25,295	27,009
有形固定資産合計	45,008	47,242
無形固定資産	2,619	2,708
投資その他の資産		
その他	34,432	33,170
貸倒引当金	△14	△15
投資その他の資産合計	34,417	33,155
固定資産合計	82,046	83,105
資産合計	260,102	246,352

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,166	29,639
1年内償還予定の社債	800	400
短期借入金	7,580	4,119
1年内返済予定の長期借入金	29,235	28,600
未払法人税等	4,223	1,558
工事損失引当金	3,351	3,201
その他	43,056	39,518
流動負債合計	122,415	107,037
固定負債		
長期借入金	13,000	12,500
退職給付に係る負債	13,336	13,950
その他	2,616	2,179
固定負債合計	28,952	28,630
負債合計	151,367	135,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,660	15,660
利益剰余金	74,445	75,288
自己株式	△5,753	△5,582
株主資本合計	100,333	101,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	2,111
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	3,027	4,320
退職給付に係る調整累計額	1,134	1,106
その他の包括利益累計額合計	6,675	7,162
非支配株主持分	1,725	2,173
純資産合計	108,734	110,684
負債純資産合計	260,102	246,352

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	116,464	124,065
売上原価	98,962	104,586
売上総利益	17,501	19,479
販売費及び一般管理費	13,070	13,756
営業利益	4,431	5,723
営業外収益		
受取利息	53	78
受取配当金	147	160
為替差益	588	175
その他	106	95
営業外収益合計	896	509
営業外費用		
支払利息	208	228
持分法による投資損失	41	93
休止固定資産費用	84	49
借入手数料	5	5
債権流動化費用	87	120
その他	43	163
営業外費用合計	469	661
経常利益	4,858	5,570
特別利益		
固定資産売却益	64	-
特別利益合計	64	-
特別損失		
固定資産処分損	22	32
特別損失合計	22	32
税金等調整前中間純利益	4,900	5,537
法人税、住民税及び事業税	1,413	1,412
法人税等調整額	244	604
法人税等合計	1,658	2,017
中間純利益	3,242	3,520
非支配株主に帰属する中間純利益	267	340
親会社株主に帰属する中間純利益	2,974	3,179

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,242	3,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,026	△777
為替換算調整勘定	773	1,168
退職給付に係る調整額	69	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	141	231
その他の包括利益合計	2,011	594
中間包括利益	5,253	4,115
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,916	3,667
非支配株主に係る中間包括利益	336	447

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,900	5,537
減価償却費	2,496	2,685
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,048	15,651
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,315	△3,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,190	△4,881
その他	△2,626	△2,208
小計	△12,403	13,444
利息及び配当金の受取額	209	259
利息の支払額	△205	△264
法人税等の支払額	△2,277	△4,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,676	9,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,134	△5,500
有形固定資産の売却による収入	381	13
無形固定資産の取得による支出	△310	△360
関係会社貸付けによる支出	△860	-
その他	△104	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,028	△5,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,110	91
短期借入金の返済による支出	△660	△4,582
長期借入金の返済による支出	△1,105	△1,137
社債の償還による支出	△400	△400
子会社の自己株式の取得による支出	△295	-
配当金の支払額	△1,581	△1,616
非支配株主への配当金の支払額	△140	-
その他	△130	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,797	△7,776
現金及び現金同等物に係る換算差額	354	130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,552	△4,165
現金及び現金同等物の期首残高	22,535	22,891
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	760
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,982	19,486

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	45,895	17,359	6,296	6,714	8,202	84,468	6,167	90,636	—	90,636
アジア	839	1,064	3,691	1,739	—	7,335	—	7,335	—	7,335
北米	—	—	8,981	420	6,174	15,575	—	15,575	—	15,575
その他	1,469	—	723	381	343	2,917	—	2,917	—	2,917
顧客との契約 から生じる収益	48,205	18,423	19,692	9,254	14,720	110,297	6,167	116,464	—	116,464
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	48,205	18,423	19,692	9,254	14,720	110,297	6,167	116,464	—	116,464
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	6	5	1	7	—	20	1,874	1,895	△1,895	—
計	48,211	18,429	19,694	9,261	14,720	110,318	8,041	118,360	△1,895	116,464
セグメント利益	1,117	1,423	1,781	341	1,052	5,716	284	6,001	△1,569	4,431

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,569百万円には、セグメント間取引消去△42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,527百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	49,639	18,589	8,106	6,409	8,321	91,066	8,510	99,577	—	99,577
アジア	678	2,510	2,437	2,459	—	8,086	—	8,086	—	8,086
北米	—	—	5,486	724	6,688	12,899	—	12,899	—	12,899
その他	1,502	—	879	555	563	3,501	—	3,501	—	3,501
顧客との契約 から生じる収益	51,821	21,099	16,911	10,149	15,573	115,555	8,510	124,065	—	124,065
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	51,821	21,099	16,911	10,149	15,573	115,555	8,510	124,065	—	124,065
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	6	0	9	—	21	2,839	2,861	△2,861	—
計	51,826	21,106	16,911	10,159	15,573	115,576	11,349	126,926	△2,861	124,065
セグメント利益	2,103	1,763	1,461	519	1,243	7,091	509	7,601	△1,877	5,723

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,877百万円には、セグメント間取引消去△133百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,744百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。